

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 村田 健二

雪の華より望む

- 審議議案 臨時会、12月定例会について… 2～3
- 一般質問 10人の議員が質問…………… 4～12
- 視察研修報告…………… 13～14
- 議会日誌…………… 14

臨時会

臨時会を10月28日に開催しました。

専決処分の報告2件をはじめ、予算案件1件が提案され、全ての議案を原案通り可決しました。

審議した主な議案

補正予算 (一般会計第5号)
追加補正予算額 2億3090万円

住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金
1億1100万円

エネルギーや食料品等物価高騰が著しい中で、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり5万円を給付するものです。

物価等高騰対策子育て応援給付金
1600万円

物価高騰が著しい中で、子育て世代を支援するとともに、子どもたちのマイナンバーカード

の取得を促し、デジタル社会への対応を推進するため、高校生までの子ども1人当たり1万円を給付するものです。

原油・物価高騰等対策事業者応援金
9000万円

長引くコロナ禍に加え、エネルギーや原材料等の高騰により深刻な影響を受けている地域産業を支え、産業の持続性と雇用を維持するため、法人、個人事業主に給付するものです。

追加補正予算額 (一般会計第6号)
2億3500万円

電気・ガス料金の高騰に伴い、庁舎および関係施設の光熱水費を増額するものです。

コロナ禍における物価高騰対策補助金
367万円

補助対象に民間の介護サービス事業者等に加えて、公立の介護サービス事業者等を追加するものです。

子育て世帯生活支援特別給付金
450万円

コロナ禍における物価高騰等で厳しい状況にある低所得の子育て世帯を支援するため、子

補正予算

追加補正予算額

2億3500万円

主な補正予算の内容

庁舎および関係施設光熱水費
3489万円

電気・ガス料金の高騰に伴い、庁舎および関係施設の光熱水費を増額するものです。

小豆島オリーブバス運営費負担金等
4042万円

コロナの影響による運賃収入の回復の遅れに加え、燃料価格の高騰や車両修繕料の増加により大きな赤字が見込まれることから、島内唯一のバス交通を守るため、減収補填を行うものです。

出産・子育て応援給付金
674万円

国の施策として新たに実施される給付金で、妊娠届時・出生届後に、既存の町独自の給付金制度にそれぞれ5万円を上乗せして給付するものです。

公民館等備品購入費
240万円

公民館予約システムを導入するに当たり、公民館等にパソコンを購入するものです。



選挙用備品購入費
75万円

香川県議会議員選挙が令和5年4月に実施されるに当たり、氏名掲示印刷用の大型プリンターを更新するものです。

12月定例会 審議した議案

12月定例会を12月15日から16日まで、2日間開催しました。条例案件4件、予算案件3件、その他案件3件が提案され、慎重に審議した結果、全ての議案を原案通り可決しました。

**室生分団屯所新築整備
事業費 102万円**

屯所新築の実施設計
において、既存建物の解
体にかかる設計費用等
を追加したものです。



室生分団屯所

**単独県費道路改良事業費
350万円**

県費補助の追加採択
があったことから、町道
上地大池線の改良工事
を増額するものです。

**椎木川護岸改修工事費
1221万円**

椎木川の護岸上部の
石積みが猪によって壊
されたことから、改修工
事を行うものです。

**ポンプ場長寿命化工事
750万円**

馬木ポンプ場の電動
吐出弁に不具合が発生
したため、更新するもの
です。

**電算システム改修委託料
33万円**

児童手当の公金受取
口座登録制度が令和5
年1月から運用される
ため、システム改修する
ものです。

**急速充電器修繕料
108万円**

各港に設置している
電気自動車急速充電器
のタッチパネルに不具
合が発生したため、修繕
するものです。



急速充電器

**非常備消防修繕料
77万円**

室生分団屯所のホー
ス巻上機が故障したた
め、更新するものです。

**海洋センター修繕料
160万円**

台風14号の強風等に
より海洋センタープー
ルの屋根シートが一部
破損したため、修繕する
ものです。



海洋センタープール

**勤労青少年ホーム修繕料
50万円**

台風14号の強風等に
より屋上防水シートが
破損したため、修繕する
ものです。

**教育施設修繕料
726万円**

・苗羽小学校
校舎雨漏り修繕

・小豆島中学校
体育館内壁面版一部
取替

・小豆島こどもセンター
複合遊具修繕

・旭幼稚園
プール循環ろ過装置
修繕

・橘分園、福田分園
消防設備修繕 など

**池田小学校長寿命化改
修工事 6000万円**

・大プール底修繕
・音楽室天井アスベスト
除去

・外壁爆裂修繕 など

**公民館修繕料
102万円**

・苗羽公民館
エアコン修繕

・二生公民館
太鼓橋(遊具)修繕

・中山分館
漏水修繕

・安田公民館
トイレ修繕 など

**土地購入費
492万円**

小豆島ふるさと村の
敷地内にある民有地2
筆を購入するものです。

**職員人件費
▲920万円**

人事異動や産休・育
休などにより職員の人
件費が減額となったも
のです。

条例の一部改正

小豆島町職員の定年等
に関する条例の一部を
改正する条例について

地方公務員法の一部
を改正する法律の施行
に伴い、職員の定年を
65歳まで段階的に引き
上げるとともに、管理
監督職務上限年齢制
や定年前再任用短時間
勤務制を導入する必要

があるため、所要の改
正をするものです。

その他

**小豆島町辺地総合整備
計画の変更について**

室生分団消防屯所新
築整備事業および二十
四の瞳映画村前公衆ト
イレ整備事業におい
て、追加工事の発生や
資材価格の高騰等に伴
い、二生および田浦の
辺地総合整備計画の変
更を行うものです。

常任委員会の開催

教育民生常任委員会
を11月24日に開催し、
「小豆島町文化財保存
活用地域計画」につい
て、生涯学習課から説
明を受けました。

教育民生常任委員会

地域の宝物を後世に
伝えていくに当たり、
町有資料を適切に保管
するよう意見を出しま
した。

1 2月定例会 一般質問

今期定例会の一般質問を12月15日に行い、10人が登壇しました。
一般質問とは、議員が町民の代表として町政全般にわたって、事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明や報告を求めるものです。

かわい おさむ
河井 修 (5 P)

- ・石彫の管理は
- ・東海岸の眺望改善を

なかがわ みつあき
中川 光秋 (5 P)

- ・航路再開に向けての対応は

たかはし じゅん
高橋 淳 (6 P)

- ・草壁港からの寒霞渓登山客減少対策を
- ・小学校統合の取り組みは

しおた ようすけ
塩田 洋介 (6 P)

- ・産業・雇用問題と小豆島の将来の展望は

おおした あつし
大下 淳 (7 P)

- ・島外とのアクセス道を
- ・壺井栄賞を高みに
- ・ドクターヘリの利用状況は

かわい しげる
川井 茂 (8 P)

- ・「海の道を活かし、アートや文化による地域活性化を目指す条例」による対応を
- ・草壁航路の復航に県知事、国交省へ赴く考えは
- ・空き家対策に地域と行政の連携を進められないか

はだ みつる
羽田 満 (9 P)

- ・旧内海町地区小学校統合への取り組み状況とスケジュールは
- ・公民館の役割と利用は
- ・ペット葬儀の対応は
- ・小学生等の登下校見守りの対応は

みき たかし
三木 卓 (10 P)

- ・企業版ふるさと納税の積極的 PR を
- ・集落支援員の導入を
- ・災害時のホームページはどうなっているのか

やすい のぶゆき
安井 信之 (11 P)

- ・都市計画区域内での排水路、公衆道路の管理は
- ・旧内海町地区の統合小学校の決定方法は
- ・奨学金制度の見直しを
- ・農業振興地域の見直しは

なべたに まゆみ
鍋谷 真由美 (12 P)

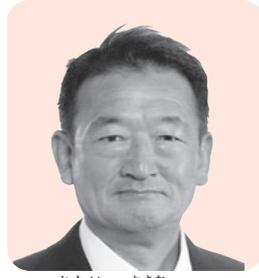
- ・町民の生活を守る対策を
- ・ゼロカーボンアイランド実現に向けての取り組みは
- ・どんな小学校を望むのか、町民からの声を聞く場をつくるべき
- ・ペットの火葬場を設置してはどうか

■一般質問を録画配信しています。右のQRコードを読み取ると、小豆島町ホームページ内から視聴できます。(YouTubeにリンクします。)



石彫の管理は

町「適正な管理を検討していききたい」



かわい おさむ 議員

草木に隠れて見えなくなっているものもある。もっと適切に管理されてはどうか。

質問 町内の道路沿いには、多数の石彫作品が設置されているが、中には放置され、

答弁 小豆島の美しい自然、町並みが損なわれることがないよう、地元関係者や関係機関などと協議し、観光資源の一つとして適



道路沿いの石彫

正な管理を予算面も含めて検討していききたい。

東海岸の眺望改善を

町「景観を少しでも改善できるよう検討していききたい」

質問 小豆島の東海岸の道路からの眺めは播磨灘に臨み、雄大で風光明媚なものであるが、近年は樹木が生い茂り、海が眺めにくい場所が多くなり残念だ。伐採等を行い、見晴らしを良くできないか。

の範囲は道路敷地内に限られ、海側は対象外となっている。しかしながら、東海岸に限らず、小豆島内の道路には瀬戸内海を望む眺望のすばらしいポイントが多数ある。今後、山林所有者や関係機関などと相談しながら、観光資源の貴重な景観を少しでも改善できるように検討していききたい。

答弁 道路の維持管理を行っている県によると、沿線の草刈りや支障木の伐採など、管理

の範囲は道路敷地内に限られ、海側は対象外となっている。しかしながら、東海岸に限らず、小豆島内の道路には瀬戸内海を望む眺望のすばらしいポイントが多数ある。今後、山林所有者や関係機関などと相談しながら、観光資源の貴重な景観を少しでも改善できるように検討していききたい。



東海岸から望む朝日

航路再開に向けての対応は

町「現時点で草壁航路の再開は困難である」



なかがわ みつあき 議員

質問 航路再開を望む皆さんと座談会で意見交換し、事業者とも面談もを行い、再開への意思を確認してきたが、町長自身、小豆島町としてはどのように考え、行動していくつもりか。

再質問 6月、全員協議会で四国運輸局の振興部長が発言された30分間ルール（高松港の発着枠）に関しては、「港湾管理者である香川県へ申し出て下さい。四国運輸局が先に動くのではなく、小豆島町と香川県でやって下さい」とのことであった。

再質問 条件がそろえばやろうという業者からは、両備フェリーや他の関係もあるのでは、自分では動けない。そのため、県・国・運輸局が動いて欲しいとはつきり聞いているがいかがか。

答弁 航路の許認可に關して何ら権限を有しておらず、一民間航路事業者の経営に責任を負える立場にない。住民の中に賛否両論があることを踏まえ、就任直後から自分自身で直接航路事業者を訪ね、草壁航路への参入意向がないことを確認し、行政機関や関係者の意見も聞いた上で、現時点で草壁航路の再開は困難であると判断している。

答弁 高松の発着枠については、業者自身が変わらないとできないと聞いている。県に要望をするが、そこがクリアできない限りは発着枠が取れないということで、知事も、そう

答弁 認識が大分違うが、走る意向があると皆さんが思われている事業者は、元々の草壁航路の5便、ダイヤ、切符売場、待機レーン、それらを全て町側で用意するならば考えてもいいという話であった。

答弁 高松の発着枠については、業者自身が変わらないとできないと聞いている。県に要望をするが、そこがクリアできない限りは発着枠が取れないということで、知事も、そう

答弁 高松の発着枠については、業者自身が変わらないとできないと聞いている。県に要望をするが、そこがクリアできない限りは発着枠が取れないということで、知事も、そう

草壁港からの寒霞溪登山客減少対策を

町「寒霞溪の魅力を高めるために「空の玉」を設置。寒霞溪へのアクセス改善を図るため池田港からのバスの運航を検討中」



高橋 淳 議員

少している。観光のためにも草壁・高松航路の再開が必要だと思いが町長の見解は。

【答弁】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、小豆島の観光客は大幅に減少している。

【質問】 秋の観光シーズンには観光客が紅葉亭行きのバス停に長蛇の列を作っており、今年シーズンは人もまばらで寒霞溪への観光客が減少している。



草壁港バス停

超える方が訪れた。今後常設展示を行う。寒霞溪の観光客を呼び戻すためには魅力を高めていく必要がある。草壁・高松航路の再開については現状では困難である。

小学校統合の取り組みは

町「小学校統合のビジョンは、小豆島町教育大綱の見直しを行う過程で、保護者、教育関係者に意見を伺い検討していく」

【質問】 小学校統合には賛否両論があるが、小豆島町総合教育会議が開催され、建設用地として小豆島高校跡地もしくは小豆島中学校が候補地として選定された。小学校統合ありきで、統合の方向やビジョンが見えてこないが、町長の考えは。

【答弁】 統合小学校の方向性やビジョンは大変重

要であり、時間をかけて検討する必要がある。まずは、小豆島町教育大綱の見直しを先行して行う。統合小学校の教育方針や目指す学校像、教育目標については、この教育大綱を踏まえて、町議会、保護者、地域の皆様の見見も参考に決定すべきと考えている。



小豆島中学校

護者、学校関係者等に意見を伺い、検討してまいりたいと考えている。

3校それぞれの良さを生かす方法について、保

産業・雇用問題と小豆島の将来の展望は

町「航路が重要な役割を担うことは承知している」



塩田 洋介 議員

減少のスピードを減衰できなければ島の産業は衰退するため、流動人口や移住者を増加させなければならぬ。そのためには、島

【質問】 小豆島の産業は、少子高齢化とコロナ等による消費の減衰に翻弄され、危機的状況下に置かれている。

産業や観光が栄えることができたのは、関西の大消費地、大都市圏や各地とつながった多くの港や廻船業によるものではないか。

【答弁】 小豆島の産業研究の未来カルテの予想では、2050年の小豆島の人口は今の半分の約6600人である。

人口減は労働人口の減少につながり、その

流、物流を一層推進するため坂手港に新たなターミナルを整備し、多くの流動人口、観光客、移住者を招き入りたい。

また、2025年の大阪・関西万博と瀬戸内国際術祭の同年開催では大阪(吉村知事)との連携を提案した。

香川県知事との面談においてもこの航路問題について知事の考えをしっかりと伺ってまいりたい。

【答弁】 小豆島の産業振興にとって航路が重要な役割を担うことは十分に承知しており、京阪神とのつながりにより地場産業が発展してきた。



草壁港を望む (内海湾)

島外とのアクセス道を

町「費用対効果から実現は難しい」



おおした あつし 議員
大下 淳

豆島では、その費用対効果から実現は困難と考える。

今後は、空飛ぶ車や自動運転技術等の加速など、近未来の移動手段に対する調査研究やアクセスの改善を検討してまいりたい。

【再質問】町単独では非常に難しく国や県との連携が必要だ。こうした意見や希望を知事等に働きかけていただきたいが。

【答弁】知事と直接会う機会もあるので話をしてみたい。

【質問】小豆島は離島で不便である。通勤、通学、通院をはじめ島外へ出るには時間と費用が大きなネックとなっている。島外の人々の考えも同じではないか。夜中の転院搬送は大変で企業誘致もかなわない。20年後には人口が半減すると予想されている。

【答弁】橋やトンネルは住民の利便性の向上や物流の高速化、産業の活性化につながるものと考える。しかし、人口2万6千人弱の小

壺井栄賞を高みに

町「非常にハードルが高い」

【質問】壺井栄賞も50回を数えたが、県内の児童・生徒の応募作品というところで、いわゆる文学賞ではない。また、少子化の現状から将来の応募はどうなるのか不安がある。

【答弁】どこかで改革や改善を行い、壺井栄賞をさらなる高みに持つていく必要があるのではないか。

また、授賞式は梅雨の最中の蒸し暑い日に戸外で行われている。突然の降雨や蒸し暑さ対策から分教場での実施は考えられないか。

壺井栄顕彰会の目的も尊重しつつ、児童・生徒の文学資質の向上と発展のためにも継続していきたい。

【答弁】著名な文学賞は既刊作品であったり小説や随筆であったりと非常にハードルの高いものである。壺井栄賞は県内の児童・生徒を対象に文章量も少なくしていることから、文学賞レベルにするとは難しい。



岬の分教場

ドクターヘリの利用状況は

町「半年で県全体で141件、うち、小豆島で72件」

うち、小豆島で72件

【質問】4月からドクターヘリが運用開始され、特に島しょ部では救急救命体制の大幅な強化が期待されているが、小豆島での利用状況はどうか。

【答弁】島内の離着陸場所は小豆島町12カ所、土庄町10カ所を指定して島全体をカバーしている。

利用状況は、4月からの半年で県全体で141件。うち、小豆島では救急搬送が30件、転院搬送が42件と、当初予想を上回る実績である。

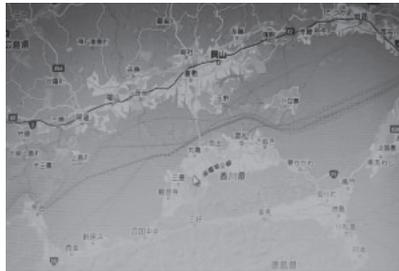
出勤要請は消防本部が行い、通信指令員や現場に向かう救急隊員の判断で要請することとなっている。転院搬送も医療機関の調整後、消防本部が要請する。

【再質問】過去にあったドクターヘリの説明会では「間違っていないから要請してもらって構わない」との話であった。どういう症状がドクターヘリの対象となるのか。

【答弁】事故などの傷病や脳疾患、心臓疾患など緊急を要するような症例は必ずドクターヘリを要請するとしている。



救急救命体制の強化に



瀬戸内海の島々



「海の道を活かし、アートや文化による地域活性化を目指す条例」による対応を町「参入の意向を示す業者もなく、直接的な対応は現状では困難である」



川井 茂 議員

〔質問〕「海の道を活かし、アートや文化による地域活性化を目指す条例」は、町内全ての航路を対象として海の道を活かし、町民、関係団体および行政機関が協働し、活力ある地域社会、島の発展を目的として制定された条例である。

〔答弁〕草壁航路再開については、6月議会、9月議会において繰り返し申し上げた通り、現在は参入できる条件が整っていないことと、参入の意向を示す業者もなく、加えて、町による直接運航や赤字補填ができない以上、直接的な対応は現状では困難であると考

特に航路の維持が最重要課題だと位置づけているので、積極的に対応すべきではないか。

草壁航路の復航に県知事、国交省へ赴く考えは町「国交省へは考えてないが、県知事の考えを直接伺う予定である」

〔質問〕11月6日まで計7回、町民を対象に各地の公民館を会場として座談会を開催した。

これは、塩田元町長、松本前町長を講師として、草壁航路を含めたこれからの小豆島の展望と各種法律の理解を目的としたものである。

300人を超える参加者には再開を願う方が多く、こうした町民の声を推し測った上で、県知事、国土交通省へ赴く考えは。

〔答弁〕私は町民全体を代表する立場であり、参加者以外にも耳



公民館で開催された座談会

を傾ける必要がある。再開に向けて参入の意向を示す航路事業者がない以上、国土交通省へお願いしていく考えはないが、本定例会終了後に香川県知事と会う機会があるので、知事の考えを直接伺う予定である。

空き家対策に地域と行政の連携を進められないか

町「集落支援員制度の活用を検討している」

〔質問〕現在も空き家が増え続け、空き家が放置されると様々な悪影響が生じる。町には様々な助成制度があるが町民に認知されていない。行政だけの力で状況を把握することは困難なので、地域と行政のパイプ役となる空き家対策委員のような方を地域ごとにお願ひして、地域と行政が連携できる体制を構築するよう提案するが。

〔答弁〕空き家対策は、地域との連携が必要不可欠である。提案の空き家対策推進員なる方を地域ごとに配置できれば、早期に空き家の実態を把握できるほ

か、補助制度等の啓発も幅広く周知でき、地域ごとで空き家の予防や活用を推進することが期待できる。

来年度は、町内の空き家調査を実施するが、地域における役割の担い手として、特別交付税措置のある集落支援員制度の活用を検討している。





はだ みつる 議員

旧内海町地区小学校統合への 取り組み状況とスケジュールは

町「建設候補地を2カ所に絞り、 早い時期の開校を目指したい」

【質問】 旧内海町地区の小学校統合について、現在の取り組み状況と統合までのスケジュール等はどうなのか。また、池田小学校との将来の統合はどう考えているのか。

【答弁】 11月の総合教育会議において、建設候補地を小豆島高校跡地と小豆島中学校の2カ所に絞ったところである。

また、池田小学校は、一定数の児童数が確保できることから、現段階での統合は考えていない。

ペット葬儀の対応は

町「飼主の立場に立って丁寧な対応に努めたい」

【質問】 ペットが亡くなったときの対応はどのようになっているのか。

【答弁】 ペットが亡くなった場合には、所有地に埋葬か、一般廃棄物として小豆島クリーンセンターで受け入れ

また、民間のペット火葬場などを利用して、島内のペット葬儀業者が廃業され、ペット火葬は島外の事業者にお願していると思われる。なお、町内の民間事業者がペット霊園の開業に向けて

小学生等の登下校見守りの対応は

町「地域学校協働活動推進員を 配置し「ながら見守り」を提案」

【質問】 小学生等の登下校の見守り活動は、高齢化等で参加者が減少し、継続が厳しい状況であるが、どのように対応していくのか。

地域での宝を守る大切な役目で、深く感謝を申し上げたい。

今年度から地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域との調整を行いながら協働できるよう模索している。登下校の見守りは、一定の時間に交差点な

公民館の役割と利用は

町「地域の活性化を図る拠点施設であり今後検討も必要」

【質問】 各公民館においては、地域の自治会等と積み上げてきた協力関係の形は違うが、

社会の変革、個々の価値観の違いが大きくなる中で、町は地域の公民館の役割、利用等についてどう評価し、位

置づけ、どのように取り組んでいくのか。

【答弁】 本来の公民館業務のほかに、子育て支援や地域の活性化を図っていく場として

後町の町全体の公民館については、施設を含めて検討が必要と考えている。まずは、公民館のあり方検討会等を組織し検討したい。

一般質問



企業版ふるさと納税の

積極的PRを

町「活用事業を明確化し、積極的に活用したい」



三木 卓 議員

た場合に、法人関係税から税額控除する制度である。

【質問】企業版ふるさと納税をうまく活用することで、小豆島町の施策を全国にもPRでき、安定した財政収入を得られる可能性も十分にある。

さらに来年度において、企業版ふるさと納税の内諾をいただいている企業もある。他の事例も参考にしながら、活用事業を明確化し、経済団体とも連携を図りながら積極的に本制度を活用してまいりたい。

現在の行政サービスを維持し、さらにアツプデートしていくためには、やはり安定した財源の確保が必要になる。今後、いかにしてこの企業版ふるさと納税を増やしていくつもりか。

【答弁】企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対し、企業が寄付を行う

企業版ふるさと納税のメリット		
社会貢献 企業としてのPR効果	地方公共団体との新たなパートナーシップの構築	税軽減効果 法人関係税から税額を控除

集落支援員の導入を

町「各地域の実情にマッチした方法を検討し、進めたい」

【質問】この制度は衰退していく地域を守っていくために重要な守りの施策になると考えている。小豆島のような田舎になればなるほど、この制度は重要な施策のように思える。

【質問】この制度は衰退していく地域を守っていくために重要な守りの施策になると考えている。小豆島のような田舎になればなるほど、この制度は重要な施策のように思える。

【答弁】集落支援員制度自体をどのように捉え、今後、この制度を活用していく予定はあるのか。

【質問】9月の台風の際に、町のホームページや県内他市町のホームページを確認したところ、運営に違いがあり、小豆島町は少々分かりにくいと感じた。近々起こると言われている南海トラフ地震や、いつやってくるかも分からない線状降水帯によって起こる地域内の災害等に対して、町のホームページは、サーバーダウンや緊急情報等についてどのような運営を準備しているのか。

【答弁】集落支援員制度は、地域おこし協力隊と同じように国の特別交付税措置を受けられる制度である。地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材を地方自治体が委嘱して、集落への目配り役となっていく取り組みだ。

【答弁】災害時には、自治体のホームページへのアクセス数が非常に集中する。平成30年の大阪北部地震の際にも、高槻市や大阪市ではホームページがダウンした。

【再質問】庁舎が全く機能しないという状況になった際は、池田保健センターや各公民館から、操作が可能である。小豆島全体が激甚災害の場合も想定し、委託企業から情報を流すこともできる。

災害時のホームページはどうなっているのか

町「緊急用画面に切り替える機能を導入している」

【質問】9月の台風の際に、町のホームページや県内他市町のホームページを確認したところ、運営に違いがあり、小豆島町は少々分かりにくいと感じた。近々起こると言われている南海トラフ地震や、いつやってくるかも分からない線状降水帯によって起こる地域内の災害等に対して、町のホームページは、サーバーダウンや緊急情報等についてどのような運営を準備しているのか。

【答弁】集落支援員制度は、地域おこし協力隊と同じように国の特別交付税措置を受けられる制度である。地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材を地方自治体が委嘱して、集落への目配り役となっていく取り組みだ。

【答弁】災害時には、自治体のホームページへのアクセス数が非常に集中する。平成30年の大阪北部地震の際にも、高槻市や大阪市ではホームページがダウンした。

【再質問】庁舎が全く機能しないという状況になった際は、池田保健センターや各公民館から、操作が可能である。小豆島全体が激甚災害の場合も想定し、委託企業から情報を流すこともできる。

【質問】9月の台風の際に、町のホームページや県内他市町のホームページを確認したところ、運営に違いがあり、小豆島町は少々分かりにくいと感じた。近々起こると言われている南海トラフ地震や、いつやってくるかも分からない線状降水帯によって起こる地域内の災害等に対して、町のホームページは、サーバーダウンや緊急情報等についてどのような運営を準備しているのか。

【答弁】災害時には、自治体のホームページへのアクセス数が非常に集中する。平成30年の大阪北部地震の際にも、高槻市や大阪市ではホームページがダウンした。

【再質問】庁舎が全く機能しないという状況になった際は、池田保健センターや各公民館から、操作が可能である。小豆島全体が激甚災害の場合も想定し、委託企業から情報を流すこともできる。



やすい のぶき 議員
安井 信之

都市計画区域内での排水路、公衆道路の管理は

町「現在の原材料支給制度で支援させていただきたい」

質問 地権者、自治会での管理も難しい事例に対して、町はどう関わっていくのか。

在の原材料支給制度で支援させていただきたい。

高齢化等により地域のコミュニティの力が落ち、地区内での管理が難しい状況に応じた制度の変更にについて、今後、調査研究は必要であると考えている。

答弁 原材料支給制度は、要綱に基づいて、里道や水路という法定外公共物等の維持管理に必要な材料の費用を自治会等に補助するもので、基本的には、現

旧内海町地区の統合小学校の決定方法は

町「建設場所が固まり次第、説明の場を設け決定したい」

質問 旧内海町地区の統合小学校について、議会も含めた協議の場をどのように進めていくのか。

意形成し、決定したいと考えている。議会には、教育民生常任委員会で逐一報告して協議もさせてもらいたい。

答弁 建設場所が固まり次第、議会や保護者、地域住民の皆様への説明の場を設け、合



私道（公衆道路）

再質問 統合時からの課題の学校敷地内での部活動の完結は。

答弁 できるだけ敷地内で部活動は完結するようにということも一つの意見として承って、総合教育会議の中で十分協議したい。

奨学金制度の見直しを

町「現行制度でも一定の配慮をする内容となっている」

質問 人口確保の観点から、制度の見直しも必要ではないか。

産み育てることができ環境づくりにつながる、人口減少に関して大変重要なことである。

答弁 町でも、育児休暇が取得しやすい環境をつくっていくことは、安心して子どもを

奨学金の返還における育休の取り扱いについては、現行制度の中で、返還免除を伴う

農業振興地域の見直しは

町「5年ごとの見直しのほか、適宜見直しをしている」

質問 農業振興地域に指定されているので、土地の利用に関して縛りがあるが、農業振興地域の見直しは。

組んでいる。

農用地区域内においては、住宅の建築等、農業上の用途以外への農地の転用が原則禁止されており、転用に当たっては、農用地区域からの除外手続が必要となる。

また、個別の見直しについては、年に3回、個別申し出の受付を行っており、申し出があった者に対しては、法律や制度に基づいて適正に審査している。

答弁 本町では、今後の農業振興を図るため、小豆島町農業振興地域整備計画を策定し、農用地等の利用や保全、農業上の効率的かつ総合的な利用の促進に関する計画等を定めている。農業委員会としては、本計画等に基づき、町内農地利用の最適化の推進に取り

再質問 地権者に説明ができていないのでは。

答弁 問い合わせについては、所有者から農林水産課へ連絡していただけたら対応する。



鍋谷 真由美 議員

町民の生活を守る対策を

町「できる限りの対策に取り組む」

や消費税の減税、社会保障や教育の負担軽減を働きかけるとともに、就学援助制度の拡充など、できる対策を求めます。

今後、できる限りの対策に取り組むとともに、国・県の支援が必要な場合は、その都度要望を行う。ただし、税制、社会保障制度の見直しは、国で十分な議論をお願いしたい。就学援助の拡充の考えはない。

【質問】 長引くコロナ禍、物価・原材料の高騰などで国民生活の悪化が深刻。その上、年金引き下げ、医療費2倍化などで町民から悲鳴が上がっている。国に対して、賃上げ

【答弁】 電気料金や原油高騰に対する応援金など、可能な限りの対策に取り組んでいる。

ゼロカーボンアイランド実現に向けての取り組みは

町「県地域脱炭素ロードマップに沿って取り組む」

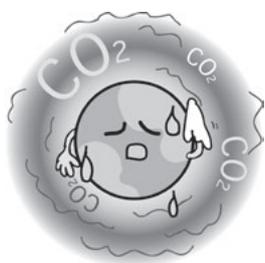
【質問】 省エネ・再エネ推進は、気候危機を打開し、エネルギーの安定供給を図り、地域経済振興の待ったなしの課題だ。

シェアリング、住宅・建物の断熱化や薪ストーブの普及への補助金など、省エネの取り組みを後押しする政策を行うてはどうか。

備の導入などに取り組んでいる。香川県地域脱炭素ロードマップに沿って各種施策の取り組みを進める。

町長は「ゼロカーボンアイランド宣言」検討を表明したが、どう取り組むのか。農地でのソーラー

【答弁】 土庄町・小豆島町地球温暖化対策実行計画に基づき、町有施設への太陽光発電設



どんな小学校を望むのか、

町民からの声を聞く場をつくるべき

町「教育大綱見直しのパブリックコメントは行う」

【質問】 子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動していく力が求められる。先日、町内で上映された映画「夢見る小学校」はまさにそのような教育実践であり、「こんな学校がほしい」などの感想が寄せられている。町長も鑑賞されたが感想はどうか。

が、前提になるどのような学校にするのかという論議と町民の声を聞くということができていないのでは。町民や子どもたちから声を聞く場をつくってほしい。

その時にはパブリックコメントを実施したい。目指すべき学校像や教育目標は、最初はPTAや学校運営協議会、地域学校協働本部を活用して協議し、最終的には、学校現場の意見も踏まえて総合教育会議で決定したい。

町総合教育会議では旧内海町地区3小学校の統合の方針で、場所の選定の話をしている

【答弁】 映画は少なからず共感する部分があったが、公立学校なので県教育委員会にも一度ご覧いただき意見を伺いたい。まず、小豆島町教育大綱の見直しを行う。



映画「夢見る小学校」の上映風景

ペットの火葬場を設置してはどうか

町「民間事業者の早期開業に期待」

【質問】 ペット火葬業者が廃業したため、住民が困っている。三木町などのようにペット

の火葬を行えないか。**【答弁】** ペット霊園開業を検討している民間

事業者の早期開業に期待している。

視察研修報告

総務建設・教育民生の合同常任委員会は、令和4年10月19日～21日にかけて、兵庫県赤穂市・淡路島・パソナ関連施設・尼崎市で視察研修を行いました。

兵庫県赤穂市

「市内循環バス『ゆらのすけ』について」

赤穂市では市内のバス交通不便地域の解消や車を運転しない高齢者や障害者および学生の移動手段として市内循環バス「ゆらのすけ」を2005年から運行している。運賃は一律1000円であり、交通系ICカードが利用可能である。

現在は5つのルート運行をはじめ近隣地区の備前市や上郡町を結ぶ圏域バスの運行や有年（うね）地区でのデマンドタクシーの運行にも取り組んでいる。



赤穂市での研修

（研修を終えて）
市内循環バスと路線バスの競合問題や利用者数の減少が課題として示されている。
増車増便は他の路線バスとの競合につながることから、事業者同士の連携が欠かせない。

本町においてもバス停から遠い地域があり、高齢化や免許証返納などにより車での移動が難しい人が増えている。今後どのような移動手段が可能であるか、「ゆらのすけ」の在り方に学びつつ、地域の人たちの要望を踏まえながら検討していく必要がある。

淡路島・パソナ

「地方創生、移住定住について」

株式会社パソナは、東京を拠点として人材派遣事業などを展開する企業である。テレワークが社員の3、4割に普及しており、2020年秋に本社的主要機能を淡路島に移す方針を示し、2024年5月までに社員の3分の2が携わる業務を淡路島へ移転する計画を立てている。淡路市内のオフィス

は既存の施設を改装したもので施設間の自由な行き来による社員の気分転換を目的としている。



(株)パソナでのセミナー

事業は主力の人材派遣の雇用契約書の作成管理や給与計算等の経理、人事総務など多様な業務が行われている。また、関連施設が市内に10カ所あり、レストランやファミリィオフィス、禅体験場など多岐に渡っている。



複合施設のクラフトサーカス

中でも「のじまスコラ」は、パソナが手掛けた事業のうちの一つで、閉校となった野島小学校を再生し「食・農・学・芸」をキーワードに2012年にオープンした施設である。自然やアート、おいしい料理を堪能できるカフェやレストランなどが入る複合施設となっている。



のじまスコラのレストラン

（研修を終えて）
パソナの淡路島移転は、企業が主体となつて行う地域創生の先駆けである。島民の意志と企業の意向の擦り合わせなど課題も残るが、離島の活性化手段の一つではある。
「のじまスコラ」は閉校となった小学校の再利用ではあるが、ただ民間事業者に譲り渡すだけでなく、地域の人たちも利用できる施設になるとともに観光客を呼び寄せることができるようになった。当該施設の事業は小豆島町にとって大いに参考になる例である。

兵庫県尼崎市

「尼崎市職員パラレルキャリア応援制度について」

尼崎市では「尼崎市職員パラレルキャリア応援制度」を実施している。地方公務員は原則として副業が禁止であるが、職務以外で地域貢献の活動に参加することは、公私共の充実につながる。と期待される。そこで職員の活動参加への後押しや庁内での理解促進を目的として、2021年1月に本制度が創設されたものである。

本制度には実施要領が定められており、無報酬の公益活動(保護司やPTAなど)やNPO等の役員として行う有償の活動など、勤務時間外の活動を対象としている。制度の説明および活動内容の是非の判定を行う相談窓口設置と、活動参加の「届出制度」の創設を実施した。

現在は20人の職員が計23の活動を本制度の下で実施しており、お笑い行政講座や空き家の活用

企画、消防団など多岐に渡る活動が実施されている。

(研修を終えて)

「パラレルキャリア」を実施している自治体はまだ少数である。活動を行っている職員からは、勤務評定への反映や時短勤務・休暇制度設置の要望があり、本業へのメリットが実感しやすい形でのパラレルキャリアの実践が求められていると感じられた。本町の地方公務員にも適用できる形の検討をする価値は十分にあると思われる。



尼崎市での研修

議会日誌

10月〜12月までの主な議会活動についてお知らせします。

12月	11月	10月
23日 小豆地区広域行政事務組合議会定例会 全員協議会	28日 後期高齢者医療広域連合議会定例会	31日 小豆島中央病院企業団議会臨時会
16日 第4回定例会(2日目) 全員協議会	14日 小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	28日 議会活性化特別委員会 議会運営委員会 第4回臨時会
15日 第4回定例会(1日目) 議会運営委員会	10日 香川県広域水道企業団議会定例会	24日 議会活性化特別委員会 議会運営委員会
7日 第4回定例会(2日目) 全員協議会	9日 香川県町村議会議長等研修会	21日 合同常任委員会視察研修 (総務建設・教育民生)
2日 小豆郡町議会議長会	8日 町村議会議長全国大会	19日 合同常任委員会視察研修
	2日 香川県町村議会議長等研修会	18日 全国離島振興市町村議会議長会
		12日 広報編集特別委員会
		5日 広報編集特別委員会

編集後記

- ▼新しい年を迎えは1カ月、節分・立春を迎えます。
- ▼今年、干支では十千の十番目にあたる癸(みずのと)と十二支の4番目の卯(う)の組合せで癸卯(みずのと)の年になります。
- ▼癸卯の年は、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になると考えられます。
- ▼3年間、世界中がコロナに苦しめられ、小豆島もご多分に漏れず停滞しました。
- ▼今年、コロナ禍から解放された、本来の活気ある小豆島を取り戻せるのではないかと大いに期待しています。
- ▼活気があり、発展する小豆島を目指して、町民の皆さんと共に頑張りたいと思います。

高橋 淳記

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会
〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp